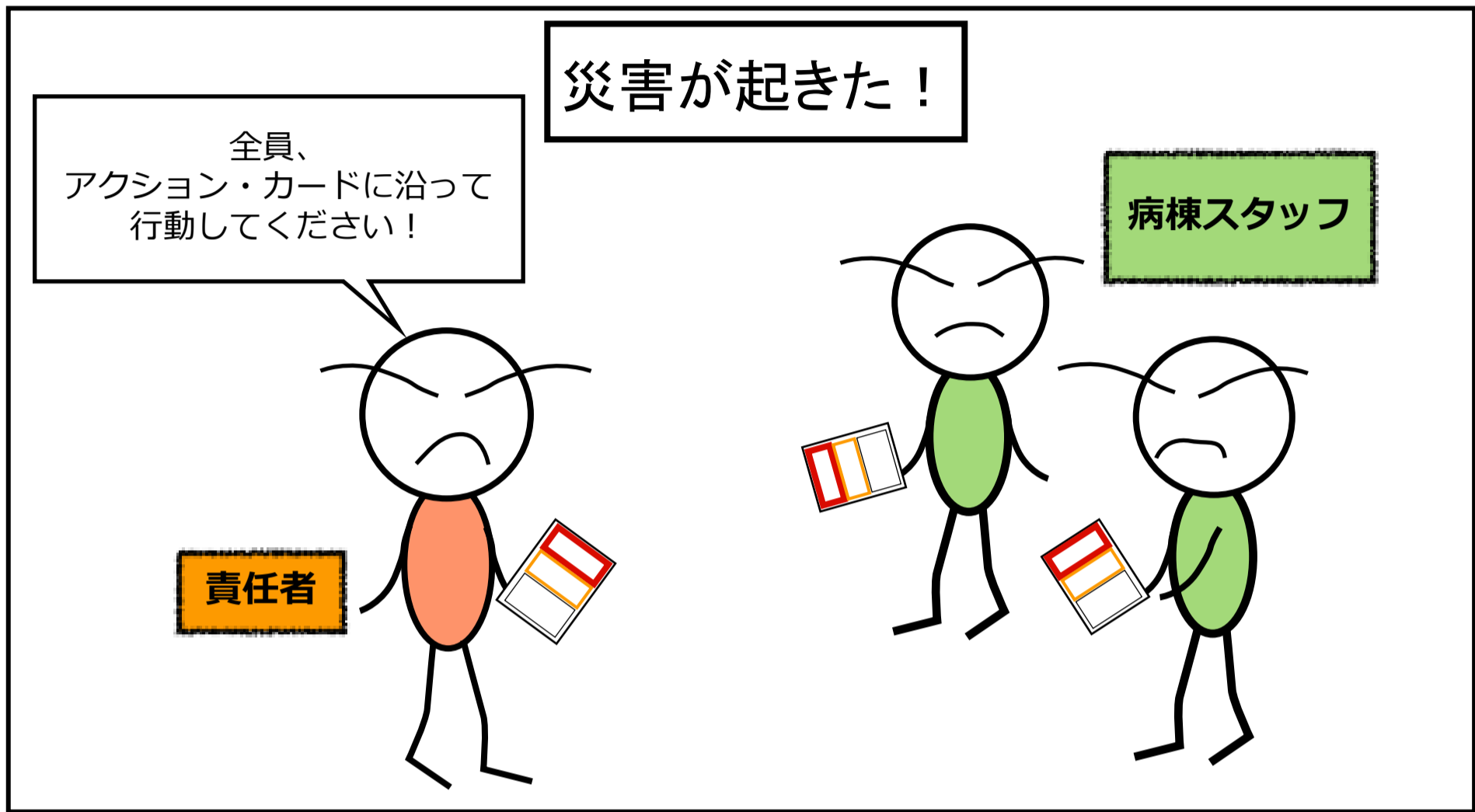
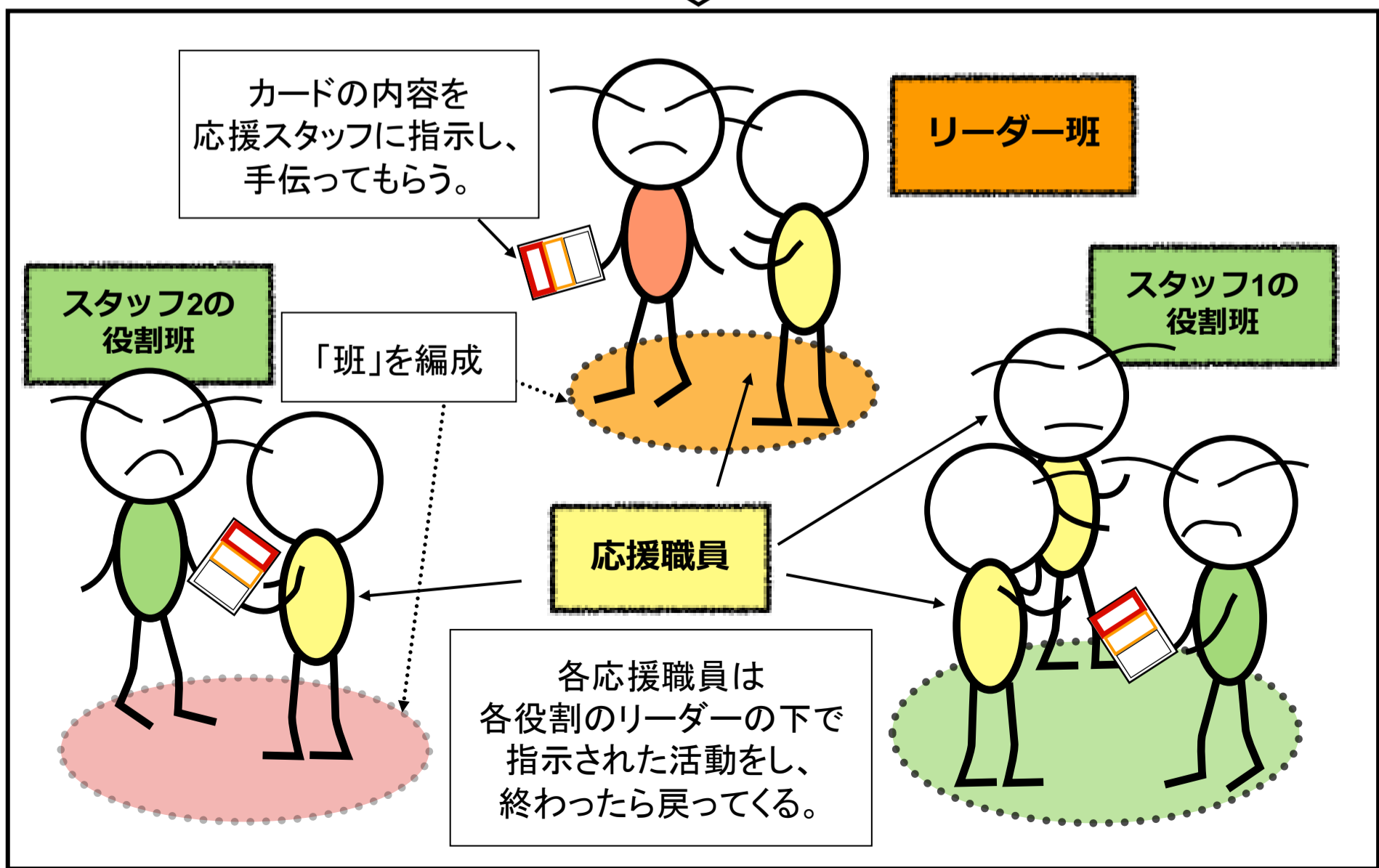


アクション・カードの使用法



応援がきた！



火災発生時

「3つの注意点」

1. “初期消火”と“通報”は2人で分担
2. 煙にまかれることが最も危険
3. 水平2区画移動で安全な場所へ避難

「避難誘導の目安と優先順位」

1. 火元が2階以上
 - 1) 出火階、その直上階
 - 2) 出火階の直上階よりも上の階
 - 3) 出火階よりも下の階
2. 火元が1階
 - 1) 1、2階と地下階のすべて
 - 2) 3階以上の階
3. 火元が地下階
 - 1) 1階と地下階のすべて
 - 2) 2階以上の階

火災の**確認**を行う

火災の**通報**を行う

スタッフ各自が安全確保を行う

アクションカードにのっとして行動する

初期消火

避難・誘導

チェックリストで確認

地震発生時

「3つの注意点」

1. 火災発生の点検

①初期対応、②応援要請、③避難対応

2. 安全確認の実施

①職員、②患者・家族など関係者、③設備・医療機器

の順

3. 状況報告

①「人」に関わることは概要を至急報告する

②「物」に関わることは詳細を適時報告する

緊急地震速報30秒前の安全確保行動をとる

緊急地震速報10秒前の安全確保行動をとる

揺れが収まったら、**火災**を確認する

自部署の安全確認を実施する

同一階の安全確認を実施する

状況確認を開始する

人的被害の確認

連絡経路の確保

緊急点検の実施

物的被害の確認・点検を行う

部署別状況報告書を作成・提出する

地震災害対策本部 発生時の仕事

「3つの注意点」

1. 病院の状況把握

- ① 報告書の収集
- ② 調査員の派遣
- ③ 電話・PHSによる収集

2. 診療体制の確認

3. 職員配置の適正化

上席当直医、次席当直医、看護時間外責任者は集まる

災害状況の確認を行う

院内放送を行う

災害対策本部の設置条件を検討する

以下の必要性について検討する

幹部への連絡

応援職員の招集

(火災の場合) 垂直避難

本部の立ち上げ準備

情報収集と評価

診療体制の維持

情報発信

広報活動

院外との情報交換

集団災害発生時

「3つの注意点」

1. 災害状況の確認
2. 安全確保・動線確保・診療準備
3. 治療可能人数の把握

救急部医師と看護時間外責任者は集まる

上席当直医、次席当直医も合流する

災害状況の確認を行う

安全確保を各自行う

動線の確認を行う

アクションカードをリーダーに配布する

各自が持ち場に別れて準備を始める

連絡を取り合う